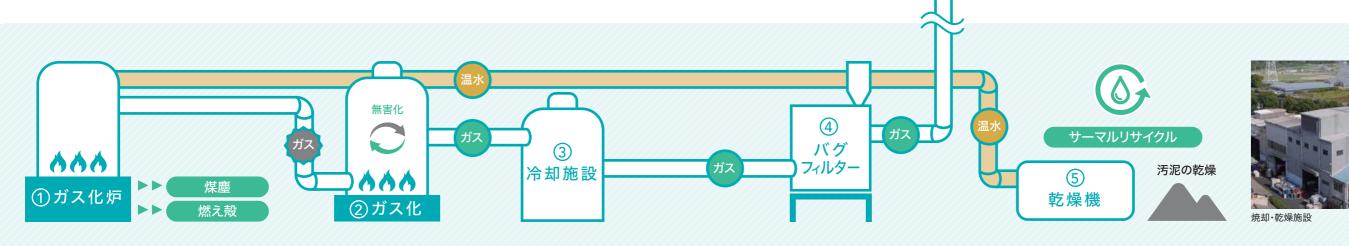


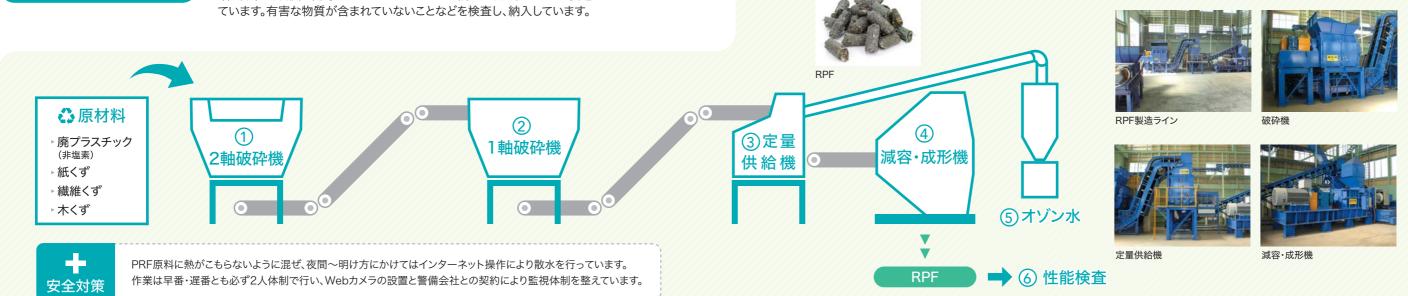
破砕・選別された可燃性廃棄物や医療施設から排出される特別管理産業廃 棄物(注射器やガーゼなど)はこの施設で焼却されます。その際に発生する温 水を利用し、汚泥の乾燥を行なっています。(サーマルリサイクル)

「第一種フロン類回収破壊業者」の認可を取得しており、フロン類が充填して いる業務用エアコン、冷蔵・冷凍機器(自動販売機を含む)、冷凍空調機器な どのフロン類を無害化しています。





RPFは化石燃料に代わる固形燃料で、古紙や廃プラスチックなどを適切に分 類・破砕し、石炭と同等のカロリーになるように調整し、成形加工して製造し ています。有害な物質が含まれていないことなどを検査し、納入しています。



焼却・乾燥施設

- 可燃性廃棄物・医療性廃棄物・回収されたフロン 類などを焼却します。
- 焼却の時にフロンガスを炉に送り込み、フロン類を 破壊し、無害化します。
- 3 冷却施設で温度を調整します。

- 4 バグフィルターによって有害物質を除去します。煤 塵からは重金属を回収します。燃え殻の一部は路 盤改良材やコンクリートブロックなどの原料として 再利用されます。残りは最終処分場で埋め立てら れます。
- 5 焼却時の温水を汚泥などの乾燥に利用します。 (サーマルリサイクル)

固形燃料RPF施設

クリーンな水蒸気■

- 1 畳などの大きな廃棄物を小さくします。
- 2 1軸破砕機で原料をさらに細かくします。
- 3 定量供給機により、廃棄物を作業効率の良い量で 送り出します。
- 4 廃棄物を圧縮減容し、RPFを製造します。

- 5 製造時の臭いはオゾン水によって消臭されます。
- 6 製造されたRPFは外の集積ピットに運ばれ、性能 検査を行います。